

第1回 個人情報保護政策に関する懇談会
「事業者等の自主的取組とそれへのインセンティブ」
提出資料

2025年9月19日
一般社団法人 日本経済団体連合会
デジタルエコノミー推進委員会 企画部会長
村上 明子

現状の個人情報保護法の課題

-  規制が「保護ありき」になり、利活用視点が不足
-  規制対応だけのガバナンスは企業のモチベーション維持が難しい
-  国際調和の欠如がグローバル業務を阻害

個人情報保護法の再設計に向けた提言

ガバナンス＝利活用の基盤

データを守る仕組みが整理整頓・品質向上につながり、結果的に利活用を加速
→ 「保護」と「活用」をセットで考えるルールづくりへ

➡ 2つの利活用視点

 社内活用：品質向上・意思決定高度化

 会社間活用：業界連携・社会課題解決

➡ リスクベースアプローチ

 リスクゼロ化ではなく、漏洩発生時の対策まで含めた制度設計
「安全＝リスク管理」「安心＝回復可能性」を法制度に

➡ 国際調和と柔軟性

 GDPR等の国際動向との調和確保

 セクター別ベストプラクティスの共有や、認証制度の検討